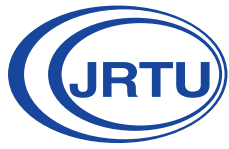


真に民主的な労働運動を
不断に追求し、働く者と
家族の幸せ、JR産業の持
続的発展を実現しよう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者 荻山市朗 ●編集者 今井孝治

facebook
twitter

第28回定期大会 民主的な労働運動を 不断に追求する決意を共有



スムーズな議事進行と充実した討議を演出した議長団

組織・政策課題をはじめ諸課題解決に向けた方針決定

JR連合は6月11日、12日、都内にて、第28回定期大会を開催し、来賓、代議員、傍聴者ら約260人が参集した。今大会は、JR労働界が新たな局面を迎える中、JR産業の将来を見据え、新たな役員体制で未来を切り拓いていくための節目となった。

大会議長団にはJR西労務局長に尾形泰二郎氏、JR東海ユニオン、執行委員長に今井孝治氏、JR東海ユニオンを新たに選出した。

R九州労組から木村智隆代議員を選出して議長が進められた。11人の代議員・特別代議員から運動方針を補強する質疑を受けた後、執行部から答弁を行った。

討論を通して、JRで働く者と家族の幸せ、JR産業の持続的発展の実現に向けて取り組む決意を固め、運動方針と役員改選などすべての議案を満場一致で採決した。また、新たな中期目標を定めた「中期労働政策ビジョン2019〜2023」について執行部より説明を行った。

さらに、今大会において役員改選を行い、3期6年間会長を務めた松岡裕次氏

新役員紹介

新たに今井氏が執行委員長に就任
新体制を確立

会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長
荻山 市朗 新	昆 弘美 再	菅野 一位 再	鎌田 茂 再	中濱 齊 再	中濱 齊 再	中濱 齊 再	中濱 齊 再	中濱 齊 再	中濱 齊 再
(JR西労組)	(JR北労組)	(JR東海ユニオン)	(JR東海ユニオン)	(JR東海ユニオン)	(JR東海ユニオン)	(JR東海ユニオン)	(JR東海ユニオン)	(JR東海ユニオン)	(JR東海ユニオン)

荻山会長

今井執行委員長

尾形事務局長

新たに、介護事業を営む「JR西日本ボシブル医科学労働組合」が加盟

執行委員 今井 孝治 新
執行委員 北村 公次 再
執行委員 中山 耕介 再
執行委員 中村 鉄平 再
執行委員 中村 鉄平 再
執行委員 中村 鉄平 再
執行委員 中村 鉄平 再
執行委員 中村 鉄平 再
執行委員 中村 鉄平 再
執行委員 中村 鉄平 再

私たちJR連合は、取り巻く環境の変化にさらされながらも「安全の確立」を労使の最重要課題と位置付けつつ、政策活動や組織課題への対応など、着実に運動を行ってきた。「平成」最後の選挙となった4月の統一地方選挙では、JR連合地方議員団連絡会の組織内議員20名全員の当選を果たした。京都府議会と広島県議会では、30歳代の2名の組織内議員も誕生した。この間の各単組の取り組みに、心から感謝し、敬意を表する。

五里霧中ともいえる情勢の中で、新元号「令和」の時代がスタートした。不確実性を増す世の中であるからこそ、私たちは将来を見据え、連合の提唱する「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて尽力しなくてはならないと強く感じている。来年にかけてビッグイベントが続くが、仲間が日々汗を流し、粉骨砕身がんばっている中、私たちは

労働組合として、まさしく働く者の声に、そして声なき声にも傾聴し、真に民主的な労働運動を不断に追求し、実践していかなければならない。

◆安全確立に向けた取り組み
「安全」は絶対に譲ることのできない最重要課題であるとの認識を、あらためて共有したい。重大事故の悲しみ、痛みを風化させることなく継承し、未来志向で安全を創りあげていく。

この間6件の労災死亡事故が連続発生したこと象徴されるように、JR関係労働者の労災は依然として微増微減を繰り返しており、とりわけ協力会社等における発生率が相対的に高まっている。

あらゆる機会において、グループ労組・協力会社等へのアプローチを強化する必要がある。職場からの丁寧な粘り強いボトムアップの取り組みにより、安全衛生活動や労使協議を強化し、より実態に即

した実効性の高い対策の創出、実施に取り組んでいく。

◆民主化闘争
JR連合結成の原点といえる、非民主的勢力との闘いについては、昨年発生したJR東労組の組織瓦解により新たな局面に突入した。しかし、依然として脱退者の多くが労働組合に未加入のままであり、JR北海道やJR貨物には民主化の波が届いていない。

こうした中でも、民主化3単組の粘り強い取り組みによって、少しずつではあるが情勢は変化しており、内外における民主化の機運は、過去には無かった高まりを見せている。本年4月には、牧久氏が、著書「暴君」にて、松崎明にスポットをあてたJR裏面史を詳らかにした。

私たちはすべてのJRにお

いて、真に民主的な労働組合と、健全で建設的な労使関係が必要であることを内外へ広く訴えてきた。今こそJR連合への総結集を加速させる最大の好機と捉え、JR連合・当該単組・支援単組が三位一体となつて、主体的かつ戦略的な行動を展開しなくてはならない。

◆産業政策活動について
JR連合はこの間、日本の人流・物流ネットワークのあり方について、交通政策単体ではなく、社会・経済政策を総動員する「ポリシーミックス」が必要であることを訴え、「チーム公共交通」「チー

なる税制特例措置の延長や恒久化はもとより、2020年度末で節目を迎えるJR北海道JR四国への経営支援策についても、再構築が求められる。また、バス産業の構造的な諸課題など、バス産業の発展にむけた継続的な取り組みも必要である。さらにJRグループとしての政策活動の強化が求められ、グループ労組と連携のうえ、技術革新の動向も視野に入れながら、働く者の視点で企画提案型の政策活動を継続していかなければならない。

◆JR関係労働者の労働条件向上
2019春季生活闘争において、こだわり続けた「月例賃金の引き上げ」は、JR各単組で継続的なベースアップを獲得するなど、賃上げの流れ

を途絶えさせることなく前進させることができた。グループ労組は、昨年を上回る54単組がベースアップを獲得しており、7単組でJR各単組の妥結額を上回るなど、JRグループ全体における「底上げ・底支え」「格差是正」は確実に前進した。危機的な人手・人材不足が深刻化しているからこそ、最も重要な将来投資ともいえる「ヒト」への投資を一層強化していく必要がある。

JR連合は新たな「中期労働政策ビジョン(2019〜2023)」の策定に至った。JR産業の構造を踏まえ、従来以上にJRグループ全体を意識し、掲げる目標への到達あるべき姿の実現にむけた取り組みを行っていく。

◆政治活動について
JR連合の政治活動は、政局が混迷を極めるからといって、あるいは一刻一刻と変わる情勢によって簡単にブレる

ものではない。多岐にわたる交通重点政策の実現や、中期政策プロジェクトで策定した答申の具現化等に向けて、国政や地方行政への働きかけを継続していかなければならない。

また、国の治安問題である革マル派浸透問題をはじめとする組織課題の解決にむけても、あらゆる手段を講じてその実態を政治の場で取り上げ、内外に発信していく必要がある。

本年7月には第25回参議院議員選挙が予定されている。議員懇談会長で静岡県選挙区の榛葉賀津也議員、幹事で千葉県選挙区の長浜博行議員を最重点候補とし、議員フォーラム所属および各産別からの支援要請に基づく推薦候補者を重点候補として、必ずや当選させなければならない。

様々な課題の解決のため、JR産業の持続的な発展のため、ひいては日本の将来のため、JR連合全組合員が一丸となって運動を展開しよう。

会長挨拶(要旨)

JR産業の持続的な発展のため JR連合「丸」となり運動展開へ



会長 松岡裕次

あわせて、JRグループ全体では早期の「10万人組織」達成を強く意識するとともに、組合未組織のグループ会社における組織化や、各種活動のさらなる充実を図っていく。

そして、すべての活動を組織の拡大・強化と、JR産業の持続的な発展、JR関係労働者の社会的地位の向上につな

質疑・討論

11人が積極的・建設的な発言

仲間づくりの場で

人と人の信頼を

大路代議員(JR西労組・青年・女性委員会)

青女世代は、機関紙より、スマホで見ることが出来るHPやFBなどが馴染みやすい。特に、新規採用者はホームページを確認している。JR総連との差別化を図る意味でも、更新頻度や内容を充実すべき。

青年女性委員会第24回ユニ

スラリーは、内容を工夫したことから、参加者の約2割がグループ労組組合員という実績を得た。学習会では「青年・女性委員会は仲間づくりの場である」ということを共有した。組織拡大は正しい理念があるだけでは成し得ず、継続的な取り組みと人との信頼が不



池田代議員(JR東労組)

責任組合となり

常識的な労使関係を築く

池田代議員(JR東労組)

昨年からの輸送障害が続き、ゴールデンウィークには上越新幹線新潟変電所トラブルによって国土交通省から警告文書を受けた。これまで危惧していた「組合不要論」なるものが蔓延している。一方、会社からの立て続けに打ち出す施策に不満の色も濃くなり



年女性

には統一地方選もあり、青年女性委員会の中でも、政治への関心は非常に高まっている。参議院議員選挙にも全力で取り組みたい。

新幹線整備に加え

新たな経営支援も必要

幸代議員(JR四国労組)

この間も安全に関わる事象が頻発している。他社に比べ、経営基盤が脆弱だからといって、安全対策が後手になっていないか、また、現場組合員の意識が低下してい

現場組合員の意識が低下していないかをチェックしながら、引き続き、徹底した労使協議により、安全に関しては一歩も引くことなく対応していきたい。そして、安全最優先の職場風土、企業風土を構築するよう取り組んでいく。



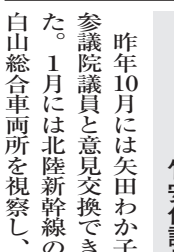
り、組

労働組合の質で

違いを見せつける

園木代議員(JR北労組)

支援単組との情報交換や交流会を企画したことにより、組合員間の交流が活発化している。また、JR北海道には組合問題に関して、異常性を認識しつづ「波風を立てずに居られるならそれでいい」という考え



女性活躍にむけ

「JR連合ならではの活動を

竹安代議員(JR四国労組女性代表)

昨年10月には矢田わか子参議院議員と意見交換できた。1月には北陸新幹線の白山総合車両所を視察し、

つながる。JR連合にはこれまで松岡会長を筆頭に意義・必要性を発信していただいてるが、さらなる国等への働きかけを求めたい。JR四国労組としてもさまざまな機会ですべての組合員に届ける。また、他労組組合員への声掛けや交流を行ってきたことの積み重ねが、個々の関係性を築き上げてきたことも事実である。JR北労組は少数で微力ながらも、マイノリティインフルエンスに基づき、他労組に負けない政策を打ち出し、労働者のための労働組合であることを忘れず、労働組合の「質」で組合員を増やしていく。



JR労働界の新たなステージに取り組むべく諸課題解決に向けた発言がなされ、思いを共有する参加者

民主化の波は

東から貨物へ及び始めた

和田代議員(貨物鉄産労)

連合が、賃金の「絶対額」に対する議論を進めており、従来の統一要求方式から転換し、産別自決、さらに将来的には単組自決となったとき、貨物鉄産労としてはひとたまりもない。JR連合には、連合に対して「上げ幅要求方式」「統一要求方式」を引き続き掲げたい



職の日

JR東労組の組織瓦解を受けて、JR貨物でも総合職の日の日、貨物鉄産労組合員が脱退する事象

改善基準告示の

実効性を高めるべき

西原代議員(JR西労組自動車連絡会)

2月にJR北労組と民主化にむけた行動をともししたが、無責任に多数で押しかけて「ガンバレ」と掻きかたてることが本当に良いのかと疑問を感じる。一面があつた。まず、当該単組が主体的に真剣に考えることが重要である。そして、当該単組が応えられるように財政

民主化闘争完遂に

JR連合がリーダーシップ発揮を

芦原代議員(JR九州労組)

協力会社において触車・墜落といった重大事象が生じ、交通事故も続発している。教育の徹底、安全対



今後

乗務員の確保をどのよう

策にコストや時間を掛けることができる体制等について協議・要請してきた。さらにJR九州連合との連携を強化し、新技術の導入も踏まえた事故再発防止に労使協議を展開していく。

適正取引の早期実現を通じた

労働条件改善を望む

後藤特別代議員

(JR九州エンジニアリング労組グループ労組連絡会)

現在、グループ会社における人材不足は極めて深刻であり、当社でも入社3年目から5年目の社員が退職



た。今

もはやJR総連との比較で組織を抜けていく、大きくしていく次元でな

定年延長議論も

労働政策ビジョンを視座に

森田代議員(JR東海ユニオン)

後は新たなステージに進めるべき状況にある。JR東海連合の2019年春季生活闘争は17単組がベアを勝ち取るなど大きな前進が図られた。しかし、労働組合に守られていない労働者



昨年の大会

山線」は復旧にむけ協議が進められている。地域にとつて真に望まれ、ご利用いただける「公共交通ネットワーク」の構築にむけ、「チーム公共交通」「チーム地域共創」の理念のもと取り組んでいく。九州新幹線西九州ルート全線複線フル規格化など、政治的政策課題も重くのしかかっており、すべての推薦候補の必勝にむけた取り組みを強化する。

JR各社とグループ会社間での契約単価の見直し・向上をはじめ、付加価値の適正配分に資する取引の実現のため、JR各単組の具



体的な後押し

最後に、JR連合「10万人組織」の実現に向け、グループ労組連絡会の仲間とともに邁進することを誓う。

最後に私たちの運動に貢献していただいたJR連合国会議員懇の榊葉会長を会に再登壇させるべく、皆さんの力を借りて必ず当選させる決意を述べておく。

まさにJR連合の「中期労働政策ビジョン」であると痛感したところである。

労働者が多く存在する。こうした仲間へ手を差し伸べ、仲間が安心して働ける環境をつくることを推し進めていかなければならない。

JR東海ユニオンにおいても初めて労働政策に関する提言を策定し、会社が発した。それが契機となって、定年延長をはじめ人事・賃金制度に関する提案があり、労使協議を積み重ねてきた。議論を進める上で「確固たる視座」が必要であるが、

の活動を通じて、全国の仲間とのつながりを感じることで、女性組合員の活発な行動につながっている。今国会で成立した「女性活躍・ハラスメント規制法」の実効性や、女性活躍に向けた行動計画の策定義務対象拡大に、実態把握やチェックをしっかりと行うようお願いする。



また、子育てに関する国の制度も

変わっていく。JR四国労組においても、育休や産休に関する制度や設備の改善を勝ち取っている。引き続き組合員の声を会社に伝え、実現していく。

政治との関わり深めるべく
身近な議員に育てる

福本代議員(JR西労組)

大会以降も4件の死亡労災事故の他、感電、墜落などの重大労災や極めて危険な待避不良等が相次いで発生している。その多くがグループ・協力会社で発生した。現場の最前線に働く方々に思いを寄せ、安全性のさらなる向上に努めていく。

調講演では「クロスセクター効果」という、公共交通が幅広い分野に系統横断的に利益をもたらす、仮に廃止すれば公共交通を維持するよりも多くの経費負担が生じるといった定量的分析について学び、公共交通の必要性・役割を強く感じることであった。

先の統一地方選ではJR西日本の現職社員2人も当選させることができた。選挙だけではなく、日頃からの議員活動、議会活動にも触れさせ、身近な議員になるように育てていきたい。さらに新たな候補者の発掘にもつながるはずである。

労災の情報をしつかりと共有して、それを礎として安全を築き上げていく。安全対策委員会を通じて情報共有している。エリア連合では安全デイスカッションも実施している。特に4大労災(墜落、感電、触車、交通事故)が連続発生しているという現状は、意識して取り組みを進めていきたい。



大会討論に耳を傾ける代議員



ループ 続きグループの相乗効果を

代議員の発言に
組合員の立場にたって
執行部が答弁

サブスローガンにも掲げたとおり、安全確立は私たちが実践していくということがすべての始まり。ボトムアップでやっていく、職場から安全をつくる、職場から安全を築き上げていくという意識を共有したい。特に、安全衛生活動の取り組みを中期労働政策ビジョンに盛り込んだところである。

○安全確立
法定の安全衛生委員会がない職場でもさまざまな取り組みができる。やはり安全の取り組みというのは積み重ね。過去のり、地域の人流・物流のネットワークをどう守っていくのか、JR二島・貨物には

○産業政策
支援策が講じられているが、どう再構築していくというところに働きかけていくことが私たちの役割だと思ふ。最近では、昨年相次いで自然災害の中での課題について、国会でも議論いただいている。例えば、道路法あるいは電気事業法の中には、自然災害のときには一時使用できる規定がある。こういったことを鉄道でも実現できないか訴えながら課題を解決していく。

○組織・民主化闘争(青女含む)
他労組組合員は、自分たちの組織の異常性は認識しているが、JR連合のことが知らない。一人でも多く接触して、信頼関係を築き、仲間となつて拡大していく。JR東労組は1万1000人台まで縮小している。しかしJRへの革マル派浸透問題が解決したかというところではない。むしろ先

総括答弁
(要旨)

J R の連合の結成理念と
未来宣言を今一度

河村事務局長



11名の代議員、特別代議員からの発言により、運動方針案がさらに補強・肉付けされた。向こう1年間、加盟全単組で運動を確実に実践していくべく答弁する。

先ず私たちが、JR連合の結成理念と未来宣言を忘れることなく、今後も活動を展開していくことを共有したい。私たちは、安全最優先で世の中に信頼されるJRを築かなければならない。安全の確立を最重要課題として安全指針の浸透を図りつつ、ヒューマンエラーに対する対策の強化、JRも含

めてグループ会社、協力会社とのコミュニケーションの強化など、安全最優先の職場・企業風土づくりに努めていかなければならない。労使が真摯に向き合い、組合員が安全・安心して仕事ができるよう健全な労使関係のもとで労使協力を充実させていく、そして、各現場においては、安全衛生活動の充実もお願いする。

JR連合は、引き続き組織の強化と拡大により、組織の推進力を高めていく。そのためにはJR総連への革マル派浸透問題の解決とともに、JR連合の旗のもとへ総結集、JR労働界の一元化という最終的な目標に向かって総団結して運動を展開せ

令和初の定期大会が皆様のご協力により、実りある大会になったことに感謝を申し上げ、向こう1年間、さまざまな課題の解決を図るべく、JR連合100単組が一致団結して実践していくことをお願いし、総括答弁とする。



中山組織・政治部長

比較で民主化闘争に取り組んできたが、新たなステージには新たな戦略を持って臨んでいく必要がある。次の(4面につづく)

大会にご出席頂いた来賓

(連合)

(交運労協)

(地方議員団連絡会)



会長 神津 里季生



議長 住野 敏彦



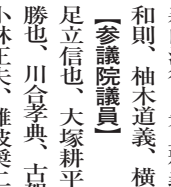
代表幹事 中田 利幸



参議院議員 榎葉 賀津也



参議院議員 岸本 周平



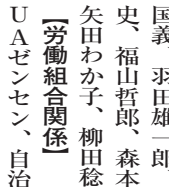
参議院議員 足立信也、大塚耕平、小川勝也、川倉孝典、古賀之土、小林正夫、難波獎二、野田国義、羽田雄一郎、浜野喜史、福山哲郎、森本真治、矢田わか子、柳田稔



衆議院議員 泉 健太



衆議院議員 広田 一



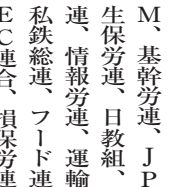
衆議院議員 元久、本多平直、前原誠司、森山浩行、矢上雅義、山井和則、柚木道義、横光克彦



衆議院議員 小川 淳也



衆議院議員 原口 一博



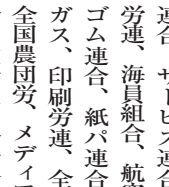
衆議院議員 勝次



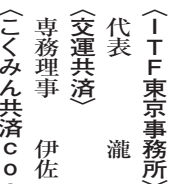
参議院議員 長浜 博行



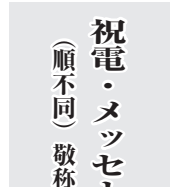
衆議院議員 大串 博志



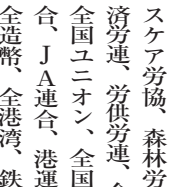
衆議院議員 博志



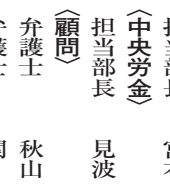
代表 瀧 勝次



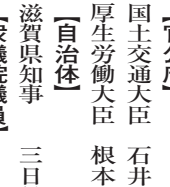
専務理事 伊佐 弘之



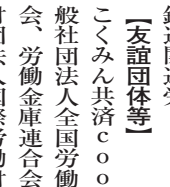
代表 瀧 勝次



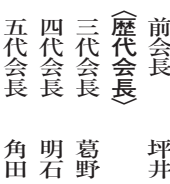
担当部長 宮本 成幸



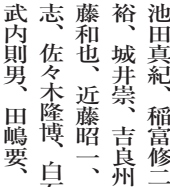
担当部長 見波 美江



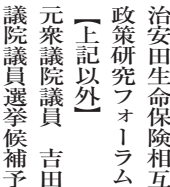
担当部長 宮本 成幸



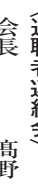
参議院議員 秋山 泰雄



参議院議員 関 次郎



参議院議員 坪井 義範



会長 高野 富夫



会長 高野 富夫



会長 高野 富夫

【祝電・メッセージ(順不同) 敬称略】
国土交通大臣 石井 啓一
厚生労働大臣 根本 匠
滋賀県知事 三日月大造
【衆議院議員】
池田真紀、稲富修二、神谷裕、城井崇、吉良州司、近藤和也、近藤昭一、齊木武志、佐々木隆博、白石洋一、武内則男、田嶋要、辻元清美、津村啓介、西岡秀子、野田佳彦、平野博文、古川

第25回参議院議員選挙 今こそJRで働く 私たちの声を国政に届けよう

6月26日通常国会も閉会し、いよいよ参議院議員選挙の日程が7月4日公示、7月21日投開票で決まった。国政においては、一強多弱の政局が続く、官僚の不祥事、閣僚の不適切発言等に象徴されるように、長期政権、与党のおごりが、顕在化している。世界の政治経済、社会の状況はますます混沌を深めており、多くのリスクと不確実性が増大しており、国内情勢に目を向けると、経済社会構造の変化が激しく、国民の将来不安は払しょくされないまま迷走している感が否めない。また、JR連合の政策実現と組織課題の解決にむけて、一強政治転換への足

7月4日公示・7月21日投開票

がかりを築く必要がある。今こそJRで働く私たちの声を国政に届けなければならない。

最重点候補 (国会議員懇所属)



長浜 博行
千葉県 立憲民主・現



榛葉 賀津也
静岡県 国民民主・現

重点候補 (現職は議員フォーラム所属)



森本 真治
広島県 国民民主・現

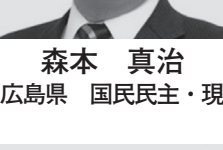


大塚 耕平
愛知県 国民民主・現

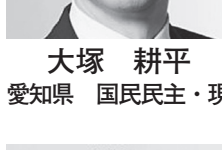


羽田 雄一郎
長野県 国民民主・現

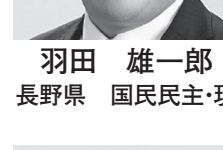
点候補、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属および各産別からの支援をめぐり選挙戦に臨む。



野田 国義
福岡県 立憲民主・現



石上 俊雄
比例 国民民主・現【電機連合】



田村 麻美
比例 国民民主・新【U A ゼンセン】

各級機関において、組合員・家族への周知徹底、グループ労組や退職者連絡会等との連携、地方連合会等支援組織との連携、選挙機運を高める広報活動の強化(機関紙への選挙関係の掲載、インターネット・SNS等を活用した選挙運動)、期日前投票を含めた組合員・家族などへの投票促進の取り組み、など万全を期して取り組むことを要請する。



森屋 隆
比例 立憲民主・新【私鉄総連】



田村 麻美
比例 国民民主・新【U A ゼンセン】

「3面から」
JR北海道への支援策にむけた検討や東京オリンピック・パラリンピックなどを考慮すれば、展望として、ここ1、2年が正念場。財政が厳しい中で、これまで予算配分してきたところ。やはりメリハリをつける。限られた浄財をどう使うか、いつ使うか、引き続きしっかり考えていきたい。専従体制、役員体制の見直し、それに伴って財政措置をどうすべきかという議論をしてきたが、結論としては、現状維持。連合や交運労協の動きを含めて、組織、財政、運動のあり方を見直す時期が必ず来る。



政所企画部長

政治活動

投票率を見ると、20代、30代では40%ぐらい。残る60%の半分でも票が動けば、政治はガラッと変わる。今、私たちがやるべきことは、議員、長浜議員や、議員フォーラム所属議員、産別候補の方々としっかり連携することである。

労働政策(グループ労組・バス)

今春季生活闘争では、特にグループ労組のベスアツが昨季を上回る状況で、直近2年間で10単組以上獲得率に近づき、20代、30代では40%ぐらい。残る60%の半分でも票が動けば、政治はガラッと変わる。今、私たちがやるべきことは、議員、長浜議員や、議員フォーラム所属議員、産別候補の方々としっかり連携することである。

男女平等参画

目標として女性役員を女性組合員比率まで引き上げていくこととしているが、現状はまだまだ。女性の中央執行委員、専従役員の選出など、引き続き取り組んでいきたい。そのためには、周りの男性役員の応援・支援というのには絶対に必要。シニア、女性などをはじめ、幅広い世代の女性を巻き込んでいく必要がある。5年後には時間外労働は960時間上限となるが、一般に近づく体制にしていきたい。改善基準告示を見直していくことが必要。5年後には時間外労働は960時間上限となるが、一般に近づく体制にしていきたい。



北村労働政策部長

大会宣言

私たちは本日、「東武ホテルレバント東京」で第28回定期大会を開催し、2019年度の運動方針を満場一致で決定した。

最重要課題である安全の確立にむけては、福知山線列車事故をはじめとする重大事故を決して風化させることなく、不断に取り組みを展開する。とりわけ、四大労災や待避不良、インシデントが多発している現状を踏まえ、「働く者の安全確保が、ひいては鉄道全体の安全性向上に繋がる」との認識を再確認し、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」の実現に向け、「安全は絶対に譲らない」との信念に基づく安全最優先の行動を実践する。そして、協力会社等も含めたJRグループ全体の安全性の向上を追求すべく、安全衛生活動や労使協議等のあらゆる機会を通じて、職場からのボトムアップを基礎とした、より実態に即した実効性の高い対策の創出・実施に丁寧かつ粘り強く取り組む。

民主化闘争については、2018春闘を契機に発生したJR東労組の組織瓦解により新たな局面に突入したが、未だにJR東日本の多くの社員が労働組合に未加入のままであり、JR北海道やJR貨物には民主化の波が届いていない。このような現状を打破し、JR連合への総結集、JR労働界の一元化を実現すべく、JR連合・当該単組・支援単組が三位一体となった行動を主体的かつ戦略的に展開する。特に今後は、JRへの草の根浸透問題に対して警鐘を鳴らすだけでなく、あらためて「あるべき労働組合像・労使関係像」を強く掲げ、社会インフラを担うJR産業には、真に民主的な労働組合と健全で建設的な労使関係が必要不可欠であることを内外に強く発信する。さらには、グループ会社等における労働組合結成や未組織労働者の組織化を通じた組織強化・拡大を実現することで、「JR連合10万人組織」の達成やJR産業の持続的な発展、JR関係労働者の社会的地位の向上に繋げる。

産業政策活動については、持続可能な人流・物流ネットワーク構築に資する中長期的政策を推進しつつ、税制特別措置の継続適用をはじめとした喫緊の重要課題にも確実に対処していく必要がある。そのうえで、JR北海道、JR四国、JR貨物のめざすべき将来像を念頭に置いて経営支援措置を再構築すべく、次なるステージを意識した機動的な取り組みを行う。また、労働政策活動については、「中期労働政策ビジョン(2019~2023)」で示す、すべてのJR関係労働者の労働条件等の「あるべき姿」を加盟全単組で共有し、その実現にむけて労働協約改訂交渉や春季生活闘争をはじめとした取り組みを力強く展開する。

政治活動については、産業政策課題や組織課題を解決するために極めて重要であり、いかなる政局においても着実に取り組む。第19回統一地方選挙ではJR連合地方議員団連絡会の組織内議員・候補全員の当選を果たしたが、今後は、第25回参議院議員選挙や次期衆議院議員選挙をはじめとする国政選挙を通じ、私たちの運動の理解者であるJR連合国会議員懇談会、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する議員の全員当選にむけて、総力を結集する。

私たちは本大会の議論を踏まえ、JRを代表する責任産別としての責任と自覚を持ち、JR産業の未来を創る運動を積極果敢に展開していく決意を表明する。

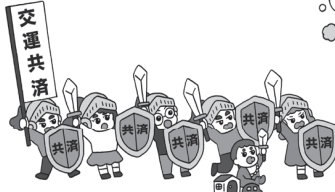
以上、宣言する。

2019年6月12日

日本鉄道労働組合連合会(JR連合)
第28回定期大会

交運共済 **ニエース**

自然は強い。共済も強い。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済